

# 10年後の千歳の姿を見据えて

## 目指す将来都市像

**総** 合計画の原案では、これまでの千歳のまちづくりを踏まえて10年後のまちのあるべき姿を考えています。

千歳は、「鶴は千年、亀は万年」という故事にちなんで命名され、村民総出の労働奉仕により歴史に残る着陸場をつくりました。

たくさんの先人が時を重ねて守り育ててきた数々の貴重な財産は、新たな魅力を加え、その開拓精神は、市民協働によるまちづくりへと受け継がれています。

平成19年には、市民の皆さんと市が協力してまちづくりを進めることが必要との考えから、「みんなで進める千歳のまちづくり条例」を制定しました。

市は、これまでのまちづくりの足跡と時代の流れを踏まえ、郷土千歳の一層の発展と、住みよさを実感し誇りを持つまちの実現を目指すことにしています。

このため総合計画の原案で

### 将来都市像

みんなで生き生き  
活力創造都市  
ちとせ

は、基本理念を「市民の皆さんとの協働により、まちの活力を持続させ安定的な発展を続けながら質的な成熟を目指す」こととしています。

この基本理念にもとづき、**将来都市像を『みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ』**としています。

これは、市民の皆さんと市が協働してまちづくりに取り組み、一人ひとりが健康で元気に活動し共に生活することにより、新たな勢い、活力が次々に生まれるまちにしたいという想いを表現したものです。



◆将来の千歳を担う子どもたち（北栄小学校3年生の皆さん）